

広報

# りくべつ



## 3月26日 保育所卒園式

卒園した20名 春にはピカピカの一年生

2001

4

No. 481

# 町政執行方針

平成13年陸別町議会3月定例会の開会にあたり、町政執行への所信を申し上げ、町議会議員の皆さん、町民の皆さんに対し、ご理解とご協力をお願いを申し上げます。



地方財政は、全国的には景気回復の兆しが見られるとはいっても、依然として好転しない経済情勢を反映して、極めて厳しい運営を強いられることを覚悟しなければなりません。とりわけ、新たにスタートいたしました介護保険事業を円滑に実施するための施策をはじめ、少子高齢社会に対応するための、保健・医療・福祉分野での行政需要の増加の一方、町税収入の伸びに期待できない状況や地方交付税の落ち込みにより、一般財源の確保は、ますます困難な状況になりつつあります。さらに、市町村合併への大きなうねりに備えた、「生き残り」のための施策展開も視野に入れなければなりません。

そのような状況の中で、昨年は、特に診療所の医療体制及び産業振興にかかわり、町民の皆様並びに議会の皆様には大変なご心配をおかけいたしましたことにつきまして、心からおわびを申し上げますと存じます。

いずれの課題も、陸別町にとつては非常に大きなものであります。おかげさまで、診療所の医療体制に関しましては、本年1月1日付をもちまして、気鋭の岩永医師を所長としてお迎えすることができました。町民に不安を与えることのない地域包括医療の充実に、これまで以上の努力をして参りたいと存じます。

また、産業振興の課題に關しても、陸別町としていま何を成すべきか、どうあるべきなのかを、関係の皆様方と十分話し合いをさせていただきながら、全力で取り組んで参りたいと考えております。

いずれにいたしましても、地方分権幕開けの記念すべき21世紀を迎えたわけであり、すし、しかしある意味では試練の時期を迎えたわけでもありますから、そういった社会

情勢や経済情勢の変化に柔軟に対応できる、自治体としての主体的な力量を問われる時代であることを強く認識しているところでございます。

また一方では、住民の方々が求められております町政へのニーズは、ますます多様化して参りますから、それ的確にお応えするための施策展開には、初心に返って、さらなる勇気と確固たる信念を持つてあたりたいたいと考えているところでございます。

初心に返るといふことにつきましては、私が就任以来お示しさせていただいておられます三つの基本姿勢、「優しさ

## 財政の健全性を維持

一つ目は、引き続き、財政の健全性維持に努力するということであり、冒頭でも申し上げましたが、町税や地方交付税に代表される一般財源については、漸減傾向になることを覚悟しなければなりません。

一方では、過去に発行した地方債の償還費が、財政の柔軟性を圧迫する懸念もありますから、新たな起債に關しては、極めて慎重に判断を下したいと考えております。

さらに、経常的な経費の圧縮、各種補助金等に関する見直しについては、陸別町行政

のあるまち」、「活力のあるまち」、「創造していくまち」、これに基づきます様々な施策に關し、庁舎内で十分な評価を加えたいということであり、ますし、個別の事務事業が、真に町民の求めに依えているかどうか、結果において町民のためにということになっていくかどうか、そういった「政策評価」の概念を、あらためて念頭におきたいということでもあります。

次に、平成13年度におきまして新規に、あるいは重点的に取り組んで参りたい、そして、特に意を用いたい事項について申し上げます。

改革大綱に基づき、具体的に取組みを進めて参りたいと考えておりますし、特に人件費の抑制のための給与制度の見直しについて、別途条例改正案を提案させていただく所存であります。

なお、町民の方にご負担をいただきます各種使用料等に関しましても、昨年の執行方針においてお示しいたしましたとおり、順次必要な見直しをかけて参りたいと存じますが、平成13年度に向けましては、保育料の改定について、ご審議を賜りたいと考えているところでございます。

## 産業振興基金の有効活用

二つ目は、本町の基幹産業であります農業や林業そして商工業の振興対策の実が上がるよう、知恵を絞って参りたいということであります。

取り巻く環境はいずれも非常に厳しいものばかりですから、残念ながら、成果が一朝一夕に見えてくるということには、なかなかならない状況であります。国有林野の取得あるいは管理受託方式を視

## 定住促進について条例化

三つ目は、定住促進対策を具体的に、また、新しい発想で取り進めたいということであります。

昨年制定させていただきました「新農業人育成に関する条例」や、東1条の町有宅地の分譲などによりまして、一定の定住促進効果を上げるべく、現在努力を続けているところでございますが、平成13年度に向けましては、それらに加えまして、現段階におきましては仮称でありますが、

## 負担感軽減のメニューづくり

四つ目は、人に優しい福祉施策をさらに充実させたいということであります。

昨年4月から、新しい介護保険制度が導入されまして、特にお年寄りを取り巻く状況

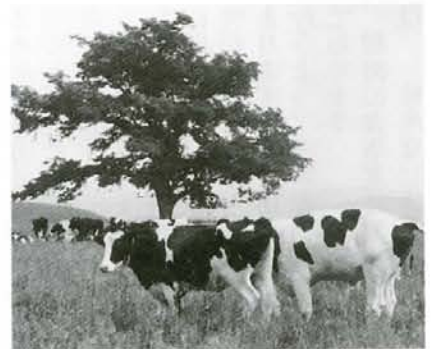
野に入れるなど、粘りづよく努力して参りたいと存じます。

また、基幹産業の振興に關しましては、昨年設置をさせていただきました産業振興基金を有効に活用していきたいと考えておりますし、農業協同組合、森林組合、商工会、その他、関係団体の皆さんとも十分にご相談をさせていただきながら取り進めて参りたいと存じます。

『陸別町ふるさと定住促進条例』を、新たに制定したいと考え、現在、精力的にその検討作業を取り進めているところでございます。

一部、内容の詰めが残っているため、この3月定例会にご提案をさせていただく状況には残念ながら至っておりませんが、新年度のできるだけ早い時期に、別途、条例案及び所要の関連補正予算案を提案させていただきたいと考えております。

は大きく変化をしたわけでありませんが、制度の複雑さや保険料及び利用者負担金の発生など、お年寄りには一種の煩わしさや新たな負担を強いることにもなっておりますから、



平成13年度に向けましては、そういったお年寄りの負担感をいくらかでも軽減できるようなメニューを、是非構築して参りたいと考えております。

具体的には後ほど少し詳しく説明をさせていただきますが、介護保険適用の限度を上げるショートステイ事業ご利用の際の利用料金について、一定の基準で助成させていただくという制度、並びに、デイサービス、ホームヘルプサービス及びショートステイの、いわゆる在宅3本柱の利用者負担額を2分の1に軽減するという制度を、新規に制定したいと考えております。

さらに、お年寄りやそのご家族の方々に24時間体制で支援することができるよう、『在宅介護支援センター』を新たに立ち上げるよう予定し、所要の予算を計上させていただきました。

「2歳児保育」に關しましては、平成12年度補正予算措置によりまして、保育室の増設等、必要な施設整備を行って参りましたが、平成13年度当初から実施するよう、所要の準備を取り進めているところでございます。

なお、懸案の「診療所・保健センター」につきましては、平成15年度及び16年度での建設を目指し、必要な準備を取り進めているところであります。平成13年度から14年度の実施を見込んでおります知的障害者授産施設みどりの園の改築整備事業に対する支援

## 情報公開

五つ目は、情報公開を具体的に実施に移して参りたいということであります。

情報公開等に関しましては、別途関連の条例案を提出させていただいておりませんが、趣旨お汲み取りをいただきまして、よろしくご審議を賜りたいと存じます。

以上が、平成13年度に向かつて、私が特に重点的に取り組んで参りたい、あるいは意を用いて参りたいことがらに關する基本的な考え方の説明でございます。

次に、新年度予算案に盛込みました事業のうち、主なもの、あるいは特徴的なものについて、その方針をご説明申

につきましては、しかるべき時期にご提案をさせていただきたいと考えております。



## を条例化

し上げたいと存じます。

まず、総務費関係の事業についてご説明いたします。

最初に、電算システム導入事業であります。平成12年度当初からは、計画どおり、財務会計システムを本格的に稼働させることができました。

操作の慣熟化に伴って、次第に円滑に運用できるようになって参りましたが、必要な職員研修も取り入れながら、事務の効率化を主題目といたします初期の目的を達成できるように、今後とも、十分工夫を加えて参りたいと存じます。

電算関係ではこのほか、平

成15年から運用が開始されることになっております。「住民基本台帳ネットワーク」に関する施設整備を見込んでおりますし、町のホームページ管理の一元化を図りまして、陸別町から外に向かって情報を発信する体制をさらに整えたいと考えております。

次に公有財産の管理の適正化に関する事項であります。平成12年度におきまして、懸案の財産台帳整備事業に着手いたしました。

しかしながら、現況の把握等の大きな課題が残っておりますし、特に図面関係の整備は早急に取り進める必要があると考えまして、マッピングシステム（地図情報）に関する予算を計上いたしました。

次に、国際交流事業について申し上げます。

国際交流事業につきましては、中学生等の海外派遣研修事業を中心に推進して参りましたが、視野をグローバルに広げる効果はもとより、国際感覚を身に付けるための事業として、すばらしい成果を上げているものと確信いたしております。

なお、平成13年度は、昭和61年（1986年）7月5日のカナダ・ラコーム町との姉妹提携から数えまして、15周年の記念すべき年にあたりますが、ラコーム町から陸別町への使節団受入れを見込んで、所要の予算を計上させていただいております。



次に、ふるさと銀河線関係であります。

ふるさと銀河線は、通学等になくはならない貴重な公共交通機関でありながらも、多額の赤字を好転させる材料は極めて乏しく、経営的には非常に切迫した状況となっております。

人件費や管理経費の削減、さらには、この4月からの運賃改定も決定し、最大限の努

力が続けられておりますが、存続を前提に、必要な財政負担に応じて参りたいと考えております。



次に、しばれ技術開発研究所に対する助成についてご説明いたします。

陸別の自然特性をまさに活用したしばれ技術開発研究所の研究成果は、内外から注目されているところであります。特に、南極観測の分野においては高い評価を受けているものであり、陸別町民にとっても誇りに感じているところであります。

その状況下、平成13年度におきましては、南極の氷掘削に使用するドリルの実験・研究が再開されるということでありますので、所要の助成を行うよう、予算を計上いたしております。

銀河の森事業におきましては、一昨年夏にオープンいた

しましたコテージ村との相乗効果もありまして、ほぼ順調に運営させていただいておりますが、入館者や宿泊客を増やす努力はもちろん、魅力あるメニューづくり及び管理運営の効率化についても努力をして参りたいと存じます。

このほか、新規事業といたしまして、仮称「冒険・体感3とうきょう」の実施を計画いたしております。

この事業は、サマーinりくべつ事業の交流を、双方向のものに発展させたいとするものでありまして、陸別の小学生20人程度を首都圏に派遣し、都市の生活を体験してもらいたい、というものであります。

## 民生費・衛生費

次に、民生費並びに衛生費関係について申し上げます。

まず保育所の関係であります。冒頭でも触れましたとおり、懸案の2歳児保育を、13年度当初から実施に移したいと考えております。

仕事を持ちながら子育てをされている保護者の皆さんにおかれましては、これまで、大変なやりくりをされていたものと存じますが、本事業の実施は、充実した日常生活の一助になるものと確信をいたしております。

お年寄りにかかわります施策といたしましては、介護保

険との関係を見ながら、不足しているサービスはないかどうか、随時検討を加えているところでございますが、昨年度実施いたしました事業に加え、次の二つのメニューを新規に展開したいと考えております。

冒頭で一部ご説明をいたしました。その一つは、介護保険の利用限度を上回るショートステイの利用者負担金、これにつきましては、制度上は全額自己負担とならざるを得ないものであります。その費用の一部について助成をさせたい、という内容のものであります。

もう一つは、デイサービス、ホームヘルプサービス及びショートステイのいわゆる在宅3本柱の利用に係る利用者負担金のうち、食料費に相当する分を除いて、その2分の1を、町が助成しようとするものであります。

利用者負担金につきましては、介護保険ご利用のお年寄りにとりましては、保険料の負担とも相俟って、軽くないものであるかと存じます。是非実施して参りたいと考えているものであります。

以上の二つの取扱は、いずれも、介護保険制度の導入によって発生することとなる負担を、一定程度軽減することによりまして、懸念されてお



ります。「利用控え」を防ぎたいというものでもありません、そのことによりまして、お年寄りには、費用の心配をすることなく、必要なサービスを必要だけ受けていただくという思いを込めているものであります。

次に、福祉関係全般に幅広くかかわりを持っていただくことになっております。福祉協議会に申し上げます。

町民の皆様に、きめの細かいサービスを受けていただくためには、社会福祉協議会の本来あるべき活発で自主的な事業展開が望まれるところであります。それが実現するよう、必要な助成予算を計上いたしているところでございます。

道が実施していただきました「寝たきり老人介護手当」につきましては、介護保険制度導入により平成12年度で廃止されますが、町の単独事業として上乗せして支給していた分については、引き続き社会福祉協議会を通じて、ささやかですが介護者のご労苦に配慮べく、支給することいたします。

なお、建築後30有余年を経ることとなります福祉センターにつきましては、建築基準法等の規定に基づき、平成13年度に耐震診断の実施を見込んでいるところでございます。

次に、ごみ処理対策について、ご説明申し上げます。

ダイオキシン等排出規制に伴い、現有焼却炉が平成14年12月以降使用できなくなることに並びに、そのことを見込んで、その後においては、足寄町、本別町との三町で広域処理を行うように取り進めていることにつきまして、既にご報告のとおりであります。平成13年度におきまして、事業主体の池北三町行政事務組合に対しまして、処理場建設費用等に係る所要の負担金支出を予定しているところでございます。

なお、新しいごみ処理方式は、基本的に埋め立て方式でありますので、将来的な費用

の増大を防止するためにも、ごみの量を減らすこと、資源として再利用することが、これまで以上に大きな課題になって参ります。

従いまして、その課題に対応できるように、資源ごみの分別の徹底等に関する説明会を町内各会場におきまして開催させていただいております。が、新年度におきましては、モデル地区の設定も行い、実効が上がるよう、さらに工夫を加えて参りたいと存じます。

いずれにいたしましても、成否の鍵はひとえに町民皆さんのご協力の有無にかかって参りますし、これらに関しましては、衛生協会や各自治会の役員さんとも必要な相談をさせていただきながら進め参りたいと存じます。



### 農林水産業費

次に、農林水産業費並びに商工費関係について、申し上げます。

まず、中山間地域等直接支払事業関係であります。本件は、陸別町のように草地の割合が高くなるを得ない、いわゆる、生産条件のよくない農地を対象に、直接的に交付金が支払われるものであります。

本町の場合、500haを超え農地が対象になる見込みであります。が、本来の目的が達成されるよう、農業協同組合等、関係機関とは十分な話し合いをさせていただきながら、取り進めて参りたいと存じます。

次に、エゾシカ侵入防止対策事業関係であります。本件に関しましては、新年度、公共草場分を含め約55kmの事業量を見込んでおりますが、全体事業の早期の完成等に関しましては、北海道等、関係機関に対しまして、強い働き掛け、要請を行って参りたいと存じます。

なお、放牧料や採草料収入を大きく上回る管理経費を要す



ることになっております。公共草地等のありようにつきましても、先の議会のご指摘も踏まえ、効率的な運営を目指し、現在具体的な検討を取り進めているところでございます。

次に、農畜産物加工研修センターにかかわる状況であります。が、平成8年度から取り組んでおります地道な研究によりまして、特色のありますニンジン甘納豆などの製品化のノウハウが確立されつつあるところでございます。

今後の課題は、民間ベースにおいて、このノウハウを生かした生産体制整備及び流通経路の確保にシフトしていかねければなりません。それらに関しては、商工会や農協その他関係機関の方々と十分ご相談をさせていただきながら、あるべき姿を探って参りたいと考えております。

農業関係ではこのほか、農業活性化総合資金等利子補給事業の継続、制度資金利子補給事業、上陸別地区担い手育成畑地帯総合整備及び道営斗満地区担い手育成畑地帯総合整備及び中斗満地区農免農道整備等の基盤整備事業などに、それぞれ所要の予算を計上いたしました。

また、林業関係におきましては、平成5年度から実施しております民有林造林促進事業補助金として所要の予算を計上いたしておりますが、新年度におきましては、これまでの対象メニューに、「間伐材流通対策」を加え、間伐事業の促進に一定の効果が上がるよう、思いを込めているところでございます。

このほか、林道関係におきましては、普通林道宇遠別線開設、経営林道りくり線改良、銀河の森線改良、普通(間伐)林道クンネベツ3号線開設などの各事業にそれぞれ所要の予算を計上いたしました。

## 商工費関係

商工費関係におきましては、陸別町商工会に対する商工振興事業補助のほか、しばれフェスティバル、オフロードレース及びバッチ選手権大会の開催経費補助などについて、所要の予算を計上いたしました。



## 土木費関係

次に、土木費関係について、申し上げます。  
町道の維持補修並びに新設改良につきましては、毎年、計画的に実施いたしているところでございますが、町政懇談会等においてお聞かせいただいたご意見も参考にさせていただきまして、緊急性及び必要性を十分考慮いたしまして実施して参りたいと考えて

おります。

なお、主な事業実施予定箇所は、次のとおりであります。

- 殖産東トナム線特設四種幅員5.5m/延長909m
- 東トナム8号線凍雪害防止 幅員5.5m/延長200m
- 下陸別連絡線交通安全一歩歩道改良 延長450m
- 緑園通り特設一種幅員5.5m(両3.5m)/延長150m
- 法面補修(各所)
- 駅南通り局部改良幅員5.5m(両2.0m)/延長80m
- 中陸別下陸別線舗装幅員5.5m/延長300m
- 利上中央幹線 同 幅員5.5m/延長400m
- 保育所本通り局部改良幅員5.5m(片4.5m)/延長137m

次に、公営住宅関係でございますが、平成12年度から継続の事業であります第2若葉団地・1棟16戸の建設工事費のほか、第1若葉団地既設公営住宅5棟18戸の解体工事費



及び新しい第1若葉団地4棟28戸の基本・実施設計の費用を計上いたしました。

また、公営住宅関係ではこのほか、つじヶ丘団地6棟30戸及び集会所にかかる水洗化に要する費用を計上いたしました。

## 消防費関係

消防費関係におきましては、昨年度に引き続きまして、町民の皆様の生命と安全を守るための、所要の予算を計上いたしました。

なお、かねてより養成いたしておりました救急救命士につきましては、この年度中に所要の実務研修を終えまして、新年度からは、念願の高規格救急車の本格運用が実現することとなりますが、隊員の技術向上等、町民の皆さんに安心を提供できる体制については、今後とも配慮をして参りたいと存じます。

## 教育費関係

教育費関係につきましては、子供たちのための学習環境整備、スクールバスの更新など



に関し、教育委員会の意向に基づきまして、所要の予算を計上いたしました。

## 特別会計関係

次に、特別会計関係、まず、国民健康保険事業勘定について、申し上げます。

国民健康保険事業勘定におきましては、地方税法の改正に伴い、課税限度額につきまして、新年度におきまして、現行の52万円から、53万円に改定する考え方で取り進めているところでございます。この点、事情ご賢察のうえ、よろしくご審議を賜りたいと存じます。

次に、直営診療施設勘定関係であります。

冒頭でも申し上げましたとおり、昨年は、診療体制につきまして大変なご心配をおかけいたしましたがおかげさまで、地域包括医療の取組に非常に熱心な、気鋭の岩永医師を所長としてお迎えすることができました。さらに、足寄町の我妻病院の支援を受ける体制も整いつつあるところでございますので、安定した医療の供給体制の整備に關しまして、これまで以上の努力をして参りたいと存じます。

しかしながら、経営的には当面、一般会計からの所要の繰入を必要とする状況を余儀なく

されており、経常的経費の圧縮はもとより、今後、さらに最大限の経営努力に配意して参る覚悟であります。

次に、簡易水道事業関係について、申し上げます。

平成7年度から計画的に進めておりました配水管布設替工事につきましては、新年度におきましては、駅南地区において整備を行うよう、計画しております。

本事業の実施により、配水管整備に関する進捗割合は約95%を超すこととなりませんが、経費の節減には引き続き努力しながら、質の良い水を、安定的に供給できるよう、善良な施設維持に万全を期して参りたいと考えております。

なお、昨年の執行方針でもお話しいたしましたとおり、負担いただきましたとおり、負担金をつきましては、特別会計の収支のバランスを考慮しながら、改定について、検討を加えて参りたいと存じます。

次に、下水道事業関係について、申し上げます。

下水道の汚水管渠新設工事につきましては、平成17年度までの期間において順次、実施するよう計画をいたしておりますが、新年度に

おきましては、現段階におきまして、4地区、500mの工事を行うよう、所要の予算を計上いたしました。

本事業を実施いたしますと、進捗率は、約70%に達することとなります。今後の課題は、いかにたくさんの方に接続(利用)していただくかという点であり、普及促進の実が上がるよう、引き続き、最大限の「営業努力」を続けて参りたいと考えております。



ご理解をいただきまして、是非ご利用くださるよう、お願いいたします。

を申し上げます。

なお、市街地以外のエリアに関しましては、新年度、合併浄化槽建設に関する方針及び年次計画等を練って参りたいと考えておりまして、所要の予算を計上させていただきます。

次に、介護保険事業関係について、申し上げます。

昨年4月に始まりました介護保険に関しては、揺れ動く制度や情報のもとで、ほぼ1年間運用されて参りましたが、需給の傾向や制度上の課題も次第に明らかになって参りましたので、それらを整理しながら、新高齢者保健福祉計画や、介護保険事業計画に基づき、必要なサービス供給体制を整えて参りたいと存じます。

以上が、3月定例議会に当たりましての所信の一端であります。

冒頭にも申し上げましたが、21世紀の地方を取り巻く環境は、依然として厳しい状況であります。その状況下、私は、職員ともども経営者の感覚を持って、開かれた行政運営と、住民参画を基本とした、真に市民の皆様のために、新世紀に相応しいまちづくりに全力を投入する所存であります。

議会並びに市民の皆様の一層のご理解とご協力を心からお願い申し上げます。

(単位:千円)

事業名	内容	事業費
議場維持管理事業	議場録音設備等改修	11,487
住民記録ネットワーク整備事業	電算室改修、機器購入、既存システム改修	15,023
公有財産管理システム作成事業	地図情報の電算化	3,822
町有建物解体事業	教和荘、旧教員住宅等	9,849
ラコーム町姉妹提携15周年記念事業	訪問団歓迎	3,000
都市圏交流事業	小学生東京ほか都市体験交流	2,120
低所得者の在宅サービス利用者負担軽減事業	デイサービス、ショートステイ、ホームヘルプ各補助金	2,396
基盤整備促進事業	南斗満地区道路整備に伴う調査測量	10,000
農村整備特別対策事業	東斗満地区農道整備100m	21,926
21世紀北の森づくり推進事業	民有林の人工造林補助金	13,167
小規模治山事業	看視舎地先、銀河の森地先	21,982
林道改良事業 銀河の森線	延長100m	10,455
ふるさと林道整備事業 銀河の森線	測量設計970m、工事30m	10,950
林道法面補修工事	宇遠別線 5カ所	2,297
町道整備事業	全15路線	※新規事業、継続事業の合計 328,240
公営住宅建設事業	第1若葉団地 実施設計4棟28戸、第2若葉団地 1棟16戸2階建て	192,203
スクールバス購入事業	上陸別線バス更新1台	11,838
副読本作成事業	小学生用社会科副読本	3,385
町民水泳プール整備事業	排水設備改修	6,542

# 平成13年度新規事業

(200万円以上の事業)

# 教育行政執行方針

平成13年度の教育関係予算をご審議いただくにあたり、教育行政推進の重点を申し上げ、町議会並びに町民の皆さんのご理解とご協力を賜りたいと思います。



21世紀という新たな世紀の開幕とともに、1月には中央省庁再編に伴い文部省と科学技術庁が統合し、教育、科学技術、学術、文化、スポーツに関する行政を一体的に推進すべく「文部科学省」が誕生したところです。

また、内閣総理大臣の私的諮問機関である教育改革国民会議は、昨年12月「教育を変える17の提案」の最終報告を発表し、21世紀の日本の教育の指針が示されました。それを踏まえて本年1月、文部科学省は今後の教育改革の取り組みについて、具体的な主要施策や課題、推進計画等の全体像を示した「21世紀教育新生プラン」を策定し発表しました。

今後このプランに基づく改革推進のため、新世紀が始まる本年を「教育新生元年」と位置付け、7つの重点戦略を示し、一連の教育改革関連法案を提出すべく作業が進められ、まさに21世紀を拓く子どもにふさわしい教育改革が始動されようとしています。

そして今日わが国においては、急速な少子・高齢化が進む時代を迎え、激しく変化します。学校教育について申し上げます。

新しい学習指導要領は、平成14年度から実施される完全学校週5日制の下、各学校がゆとりのある教育活動を展開する中で、基礎・基本の確実な学力の定着を図りながら、自ら課題を見つけ、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、問題を解決する力などの「生きる力」を育成することが、基本的なねらいとして改訂されました。

その一環として創設された「総合的な学習の時間」は、地域や学校、子どもたちの実態に応じ、創意工夫を生かして特色ある教育活動を行ったり、または国際理解、情報、

社会情勢のもとで、町民一人ひとりが心身ともに、健康で生きがいと潤いのある充実した人生を送るために、教育・文化・スポーツの果たす役割は、ますます重要になってまいります。

教育委員会といたしましては、こうした今日的な課題を踏まえながら、北海道並びに十勝管内教育推進の重点を指針とし、「陸別町教育目標」「第4期陸別町総合計画」「第5期陸別町社会教育計画」を基に、本町の特性を生かした教育行政の推進に努めてまいります。

## 「総合的な学習」への支援

環境、福祉、健康等従来の教科をまたがるような課題に関する学習を行える時間です。学習内容も、自然体験やボランティア活動等の社会体験、観察や実験、見学や調査、発表や討論、物づくりや生産活動等の体験的な学習、問題解決的な学習を積極的に取り入れることになっていきます。本年度は移行期間の2年目を迎える極めて重要な年であり、これらの教育実践が円滑に取り組まれるよう所要の予算を計上いたしました。

また、小学校では国際理解に関する学習として、英会話を通じて外国の生活や文化などに触れたり、慣れ親しんだりするなど体験的な学習活動

を行うことができます。本町ではこれまで保育所の行事や小学校の授業で、国際交流員が子どもたちに歌やゲーム、挨拶などで楽しみながら英語に関心を持たせ、小さい時から違和感もなく英語に慣れ親しんでおります。これからも小学校段階にふさわしい、簡単な英会話ができて英語が好きになってもらえるよう、英語学習の指導内容や方法について、創意工夫をしながら推進してまいります。

学校でのインターネットの活用は、必要な情報の収集・蓄積や情報交換等を適時に行うことで、学習素材を豊かにし、興味・関心を広げるなど、子どもたちの学びや学校の教育活動に大いに役立っております。本年度は陸別小学校にインターネットへの接続を行い、情報教育の一層の充実を図ってまいります。





## 郷土読本「りくべつ」改訂

陸別町教育研究所は、昨年度から所員と研究協力員により、新学習指導要領にそった小学校社会科副読本である、郷土読本「りくべつ」の全面改訂に向けて、内容の見直し作業を進めているところですが、本年度中に発刊すべく、所要の予算を計上いたしました。

学校施設の整備については、昨年度排水設備調査を行い、本年度から陸別小学校の下水道工事に着手します。学校のトイレについても家庭での洋式化が進んでおりますので、きれいで明るく、安心してトイレを使っていただけけるよう、内装を改修しながら、児童の生活スタイルに合わせた洋式便器を設置してまいります。その他陸別小学校では、グラウンドフェンスの設置、陸別中学校では校舎屋根塗装工事、体育館照明管球取替等の教育環境の整備に努めてまいります。

教職員の住宅整備について



一部に老朽化が目立ってきておりますので、本年度は公立学校共済組合共済住宅事業の投資方式により、1棟2

## スクールバス更新

スクールバスの運行については、遠距離地域から通学する児童生徒、また一昨年から一般町民も無料で便乗しながら、現在5方面を5台で送迎しております。更新につきましては、年次計画を立てな

## 生涯学習「リーダーバンク」登録

次に社会教育について申し上げます。

本町の第5期社会教育計画の策定については、昨年度社会教育委員の会議に、これから生涯学習社会の実現を目指した社会教育活動を充実するため、具体的な方策を導き出されるよう諮問したところで、本計画にあたっては、社会教育委員、体育指導委員による計画策定委員会を構成して、本町の社会教育行政全般にわたり審査を行い、本年3月策定について答申がありました。本年度から今後5年間この計画の具現化に向け推進してまいります。

戸の建設に係る費用を計上いたしました。また、教職員住宅の下陸別地区3戸については、下水道工事に係る所要の予算を計上いたしました。

がら進めておりますが、本年度は昭和63年度購入の上陸別線の車両が13年経過し、運行に支障をきたしてまいりましたので、小型バスを更新する所要の予算を計上いたしました。

町民が自ら学習した成果を、地域に還元する生涯学習推進の一環として、本年度より町民から「リーダーバンク」の登録者を募り台帳を作成してまいります。一般教養、生活、芸術、文化、趣味、職業、スポーツ、レクリエーションなどあらゆる部門において、自薦は勿論、他薦でも本人の了解が得られれば登録し、地域の人材を掘り起こすことで、各種の教室、研修会等に有効活用をしながら、町民の学習意欲の向上に努めてまいります。

また、学校教育と社会教育が、一体となって子どもたちの教育に取り組む「学社融合」の声が高まっています。これからは各学校の「総合的な学習の時間」にも、「リーダー

## 親の活動支援に「子どもセンター」

社会教育講座として、一般町民を対象にパソコンや、インターネットの操作等の基礎技術を習得するために、陸別中学校のコンピュータ教室を利用してパソコン教室を開催しておりますが、昨年度国において新たにIT基礎技術講習を支援するため、「情報通信技術講習推進特例交付金」が創設されましたので、本年度はこの事業によりインターネットのためのパソコン教室を実施してまいります。

文部科学省では完全学校週5日制の実施に向けて、地域国際化に対応する教育については、平成3年度から外国青年招へい事業の中で、国際交流員を配置し、子どもたちや一般町民への語学指導や、各種行事への参加による町民との交流活動等を行っております。現在カナダからドン・マイヤホッグ氏を迎え本年度で5年目になりますが、引き続き招へいすべく所要の予算を計上しております。

また、陸別ならではの国際交流事業として、本年度で10回を迎える「中学生等海外研

さと教育や開かれた学校教育としての重要な役割を果たしてまいります。

## 海外研修の成果のひびく

「修派遣事業」は、成長過程における子どもたちの、大変貴重な経験と位置付けをしております。7年前にこの事業に参加したある生徒が、昨年ワーキングホリディビザ（日本とカナダ等の各国の若者に文化交流の機会を与えるために用意された入国許可証）で、1年間働きながらカナダの語学学校に留学しております。

このことは正に教育効果であり、この事業の成果の一つと考えております。

## 千ヤシ保存に専門職員

国指定の史跡ユクエビラチヤシ跡の整備については、一

昨年専門家による「保存整備委員会」を設置し、具体的な指導をおおきながら、保存整備基本計画を策定するため試験調査を行っております。調査で遺物の出土量が多かったことや、遺跡の規模が予想以上に大きかったことなどから、昨年度も継続し実施してまいりました。その成果の試験調査報告書や基準点の配置、現況地形図の作成も行い、これらの基礎データをそろえ「保存整備基本計画」をまとめたところです。本年度は次のステップの「保存整備基本設計」を作成し、平成14年度から国の補助を受けるため、史跡整



備事業を国に申請してまいります。

この様な大規模な事業を円滑に進めるため、昨年度は臨

## しばれパークは下陸別へ

スポーツは、私たちの人生をより豊かにしてくれるものです。これからのスポーツ振興については、だれもが、それぞれの体力や年齢、技術、興味・目的に応じて、いつでも、どこでも、いつまでもスポーツに親しむことができる、生涯スポーツ社会を実現していかなければなりません。

本町のスポーツ振興につきましては、だれもが気軽に参加し、さわやかな汗をかき、とができる軽スポーツとして、パークゴルフやミニバレーが普及し、楽しみながら余暇を有意義に活用して、自己の健康管理や体力づくりに取り組んでおります。

スポーツ施設の整備については、わかばパークゴルフ場をこれからもより快適にプレーが楽しめるように、芝の管理には起伏のある地形にも対応できる芝刈機を購入し、またコース内のホールカップやホールピンなどについても継続的に更新をしながら、適正な維持管理に努めてまいります。その他、水泳プールの排

時芸芸員を配置して試験調査等を実施してまいりましたが、専門職員の配置による事業の継続が必要となりますので、本年度から正職員を採用して事業を推進してまいります。

## 水設備工事、町民スキー場りフト監視舎改築工事等の整備を行ってまいります。

冬期間の健康と体力づくりのため、平成10年度から陸別町パークゴルフ協会の協力をいただきながら、緑町スポーツ広場に「しばれパークゴルフ場」を開設しております。

知的障害者授産施設みどりの園の移転に伴い、本年度は代替地として下陸別の河川

## ミニバレー！

陸別町ミニバレー協会は、十勝・オホーツク圏のミニバレー愛好者の親睦と交流を深めるため、昨年度本町において選手約180名の参加を得て、「陸別オーロラ杯ミニバレー交流大会」を開催しております。本年度も4月に開催を計画しておりますので、運営費の一部を助成しながら、大会の成功に向けて支援してまいります。

陸別町スポーツ少年団は、健全な体と心を持った青少年の育成として、スポーツ指導員のご協力をいただきなが



敷の用地を予定しております。土地の借用等については、関係機関と協議しながら進めてまいります。

## 空手大会助成

ら、現在6単位団が組織化され活発に活動が行われております。



本年度は、陸別町空手道スポーツ少年団が主管の、「第22回道東・道北地区小・中高空手道選手権大会」兼「第39回全道小・中・高空手道大会予選会」が、本町で5月に開催されますので、運営費の一部を助成しながら支援してまいります。



以上 本年度の教育行政に関する主要な施策について申し上げますが、これからも町民の皆さんの負託に応えるため、学校・家庭・地域社会や各関係機関と連携を深めながら、陸別の教育の振興に努力してまいりますので、今後とも町議会、町民各位の、なお一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。



▶ボランティアグループひまわり会（我妻勉会長）が主催するふれあいの集いが、3月2日（金）開催されました。毎年老人憩いの家で開かれていたふれあいの集いですが、今回は参加者が多いため、タウンホールを会場に開かれました。参加した約180人のお年寄りたちは、ひまわり会会員手作りのそばを食べながら、カラオケや世間話に花を咲かせていました。



▼ふるさと銀河線にSLを走らせようと3月2日（金）公民館を会場にふるさと銀河線SL運行推進協議会が開かれました。

期間は夏休み中の7月29日から8月4日までの予定で、北見・池田間を1日1回片道運転し、ふるさと銀河線を全国にピーアールすることで知名度アップを図ります。



▼3月16日（金）タウンホールを会場に第44回女性のつどい・第2回女性まつりが開催されました。

今回は、陸別消防署職員による普通救命講習が開かれ、午前中の講義に続き午後からは人形を使っての人工呼吸や、心臓マッサージの仕方などを学びました。



▼3月23日（金）陸別小学校で卒業式が行われました。

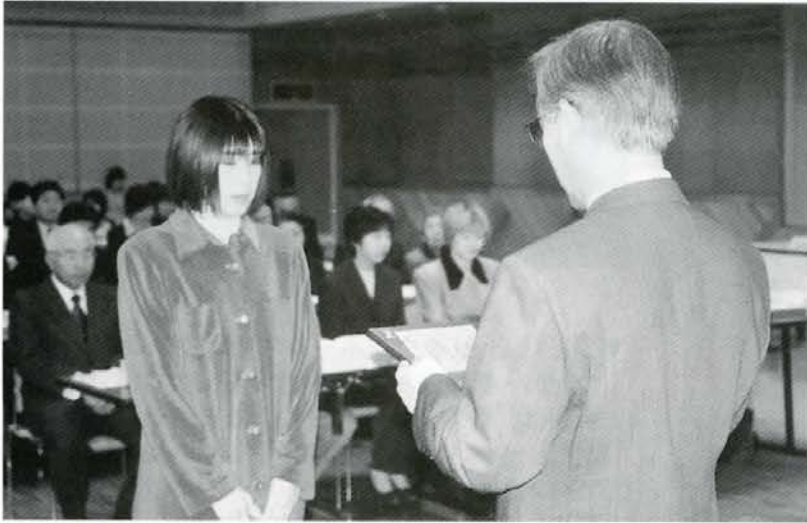
91回目を数える今回の卒業式では、男子19名、女子7名、計26名の卒業生が、志田功校長より卒業証書を手渡され、卒業生一人ひとりが、小学校の思い出や中学生になったの抱負を発表しました。在校生からも卒業生を送る言葉がのべられ、PTAからは、記念品が贈られました。



▼3月15日（木）陸別中学校で卒業式が行われ、式では、那賀島校長から卒業生28名一人ひとりに卒業証書と思い出の言葉が添えられました。



# 平成12年度 教育振興賞受賞44名 10団体



3月20日(火)、平成12年度陸別町教育振興賞表彰式が行われました。今回表彰されたのは、全十勝陶芸展で金賞を受賞した共栄第1の渡部由美子さんから44名と10団体です。  
(団体の個人名は敬称略)

## 文化奨励賞(一般部門)

◇渡部由美子さん(共栄第1)

第21回全十勝陶芸展シルバ

1の部 金賞

◇高橋 久恵さん(新町1区)

第10回書き初め展硬筆の部

特選

児童生徒文化奨励賞(生徒部門)

◇菊川 蘭さん(中3)

平成12年度中学生「税についての作文」北海道納税貯蓄

## 組合連合会 会長賞

児童生徒文化奨励賞(生徒部門)

◇舟越 彩さん(中3)

平成12年度中学生「税についての作文」十勝池田地区納

税貯蓄組合連合会 優秀賞

◇吉田 直弘さん(中2)

平成12年度十勝子ども大会

絵画の部 入選

◇佐藤 宏美さん(中1)

平成12年度 同大会 技術

作品の部 入選

◇山崎 晴香さん(中1)

第32回全国学生書道展 優

秀作

◇小田 早織さん(中1)

同 展 優秀作

◇青木 裕香さん(中1)

同 展 優秀作

◇高橋 結菜さん(中1)

同 展 秀作

◇畠野 友香さん(中1)

同 展 優秀作

◇石井 悠さん(中1)

第11回北方領土返還意識高

揚習字展 国後島賞(優秀賞)

◇坂倉 愛美さん(中1)

同 展 同賞(優秀賞)

児童生徒文化奨励賞(児童部門)

◇池田 瑠亜さん(小3)

第11回北方領土返還意識高

揚習字展 択捉島賞(最優秀賞)

児童生徒文化奨励賞(児童部門)

◇朝日 健介さん(小5)

第11回北方領土返還意識高揚習字展 国後島賞(優秀賞)

◇高橋 準さん(小5)

同 展 同賞(優秀賞)

◇浅井 知生さん(小5)

同 展 同賞(優秀賞)

◇本寺真菜美さん(小5)

同 展 同賞(優秀賞)

◇伊倉 里菜さん(小3)

同 展 同賞(優秀賞)

◇浅井 静乃さん(小3)

同 展 同賞(優秀賞)

◇高橋 聡さん(小4)

第32回全国学生書道展 秀作

◇瀧口 和平さん(小2)

同 展 優秀作

◇鈴木 初雪さん(小2)

同 展 秀作

◇高橋 恭兵さん(小1)

同 展 特別賞

◇佐川 夏美さん(小4)

第10回おひろ児童版画コン

クール展 金賞

◇大和田初美さん(小4)

平成12年度十勝子ども大会

デザイン部の部 入選

◇菊川菜里江さん(小3)

同大会 絵画の部 入選

◇三浦 大貴さん(小2)

同大会工作工芸の部入選

◇三好 美穂さん(小1)

同大会 書写の部 秀作

スポーツ奨励賞(一般部門)

◇堀籠 吉尚さん

陸別パークゴルフ協会の設立に寄与し、平成元年から理事・副会長・会長を歴任、同協会の運営・指導に大きく貢

献した。

◇しんないよー!(佐藤章彦、平井均、渡辺優美子、平井久美子)

2000陸別オーロラ杯ミ

ニバレー交流大会 混成40歳

未満の部 優勝

スポーツ努力賞(一般部門)

◇加藤ナツイさん

老人クラブのゲートボールの普及と育成指導に功績があった。

◇谷 通弘さん

同功績。

◇斉藤ミサヲさん

同功績。

◇稲富 高雄さん

同功績。

◇佐野 コトさん

同功績。

◇川初 テルさん

同功績。

◇津幡 恵一さん

平成3年より指導員として

空手道スポーツ少年団の育成

にあたり、全国大会上位入賞

へ導くなど功績が顕著である。

◇陸別町ミニバレー一般女子

(大淵文子、平井久美子、山

内和子、菊地美栄子)

第32回道民スポーツ十勝夏

季大会 ミニバレー一般女子

の部 準優勝

◇ミラクルフオー(菅野守、千

田貢、大淵文子、松本己紀子)

2000陸別オーロラ杯ミ

ニバレー交流大会 混成40歳

以上の部 準優勝

◇陸別オーロラフオー(浦島

健造、七戸政則、織田清美、松

本己紀子)

第8回ミニバレープレジデントカップ上湧別大会 混成40歳以上の部 3位

◇流星(佐藤章彦、大井幸雄、平井久美子、渡辺優美子)

第4回オホーツクミニバレーフエスタin遠軽大会 混成40歳未満の部 準優勝

ジュニアスポーツ奨励賞(生徒部門)

◇佐藤 宏美(中1)

第38回全道空手道選抜選手権大会 中学1年女子組手の部 3位

◇畠野 友香(中1)

同大会 同組手の部 準優勝

◇陸別町空手道スポーツ少年団 中学男子(千葉良太、三輪隼平、池田翔吾)

同大会 中学生団体組手の部 3位

ジュニアスポーツ努力賞(生徒部門)

◇吉田 直弘(中2)

第21回道東・道北空手道選手権大会 中学2年男子組手の部 3位

ジュニアスポーツ奨励賞(児童部門)

◇今村 拓人(小2)

第38回全道空手道選抜選手権大会 小学2年男子組手の部 準優勝

◇陸別町空手道スポーツ少年団 小学男子(高橋拓郎、山内順宗、谷優太)

同大会 小学生中学年団

体組手の部 3位

ジュニアスポーツ努力賞(児童部門)

◇菊地 提樹(小5)

第27回全十勝小学校陸上競技大会 小学5年男子走幅跳2位

◇坂倉菜々美(小4)

同大会 小学4年女子ボール投 2位

◇陸別町立陸別小学校5年生 男子(古田雅俊・水間倫・菊地提樹、山本景太)

同大会 小学5年男子400mリレー 3位

◇高橋 圭祐(小2)

第22回十勝地区空手道選手権大会 小学1・2年男子型の部 準優勝

◇陸別町サッカー少年団19名(宮下宏行、平野文弥、板花大輔、渡辺祐一、首藤智裕、梅田昌範、谷内田俊文、伊倉大亮、鎌上甚、坂倉悠日、高萩慶太、野下明寛(以上小6年)、工藤優太、山内量寿、古田雅俊、菊地提樹、山本景太、小南省吾(以上小5年)、佐藤翼(小4年))

第13回奥寺康彦杯少年サッカー大会 3位

◇陸別町サッカー少年団6年12名(宮下宏行、平野文弥、板花大輔、渡辺祐一、首藤智裕、梅田昌範、谷内田俊文、伊倉大亮、鎌上甚、坂倉悠日、高萩慶太、野下明寛)

第13回勝毎杯全十勝少年団サッカー町村大会 6年の部 3位

社会保険事務・年金相談について

平成13年度社会保険事務相談所が足寄町商工会で開催されます。社会保険事務手続・年金等相談のある方は、お気軽にお立ち寄りください。日程・時間は、次のとおりです。

町会 寄商 足商

日 程	時 間	場 所
4月 24日(火)	午前9:30~午後2:30	町会 寄商 足商
5月 25日(金)	"	
6月 26日(火)	"	
7月 26日(木)	"	
9月 26日(水)	"	
10月 26日(金)	"	
11月 22日(木)	"	
12月 26日(水)	"	
1月 25日(金)	"	
2月 26日(火)	"	
3月 26日(火)	"	

氏 名

戸水恵美子 (713064)

佐藤 昭二 (714365)

七戸 一登 (713739)

神 千那誠 (712965)

宮崎 和行 (712339)

佐々木 亨 (712333)

林 妙子 (712462)

中尾美代子 (712763)

# くらしの情報

## 「しあわせ・応援・ネットワーク」

私たち民生委員児童委員の「あい言葉」です。

民生委員児童委員は、地域の誰もが幸せで安心した生活をおくれるよう応援します。何か心配ごとがありましたら民生委員児童委員にご相談下さい。もちろん個人の秘密は守ります。

氏 名	担当地区
戸水恵美子 (713064)	共栄第1
佐藤 昭二 (714365)	共栄第2
七戸 一登 (713739)	若葉町
神 千那誠 (712965)	東1条1区
宮崎 和行 (712339)	東1条2区
佐々木 亨 (712333)	大通
林 妙子 (712462)	鉄道
中尾美代子 (712763)	栄町
林 妙子 (712462)	下勲別
中尾美代子 (712763)	分利線
林 妙子 (712462)	元町
中尾美代子 (712763)	旭町
林 妙子 (712462)	新町1区
中尾美代子 (712763)	新町2区
林 妙子 (712462)	川向

久古 善守 (812070)	下登良利
菅野真砂子 (712280)	上登良利
西岡 隆 (712892)	恩根内
川初 博司 (713293)	宇遠別
副島 晴 (713718)	恩根内
早坂 昇榮 (712622)	下陸
三品 輝雄 (713829)	中陸
主任児童委員 和子	共陸
	上陸
	作陸
	止陸
	上陸
	本陸
	苦陸
	弥陸
	苦陸
	本陸
	殖陸
	下陸
	東陸
	中陸
	中陸
	中陸
	上陸
	上陸
	北陸
	南陸
	小陸
	利陸
	林陸
	日陸
	町内全域

## 冬 季 ミ ニ バ レ ー



◀ Aクラス1位〜3位



▶ Bクラス1位〜3位

2月15・16日の2日間、陸別中学校体育館で、教育委員会主催の第15回冬季ミニバレー大会が開催されました。16チーム延べ170名が参加し、AクラスではシャイアンBチーム（佐々

木正義、岩根浩樹、田中加奈子、佐藤元子）が優勝し、Bクラスでは若葉3号チーム（成田妙子、田中奉世、佐藤章二、菅原靖志、浦島健造）が優勝しました。（以上敬称略）

## しばれパークゴルフ

▶ 2月18日、緑町スポーツ広場特設コースにおいて教育委員会主催の第3回町民しばれパークゴルフ大会が開催されました。当日は晴天に恵まれ、男女45名が参加し、ホールインワンが26本もでるなど、寒さを吹き飛ばすような熱戦が繰り広げられました。



	男子	女子
優勝	白取孝之(62)	三好和子(65)
準優勝	武田辰利(64)	谷山コト(67)
第3位	小南博信(65)	井上良子(69)

パー99（ ）内はスコア

## 乳幼児医療費助成制度が一部改正され、「所得制限」が導入されることになりました。

平成13年4月1日以降に出生した乳幼児から適用されます。

所得制限を適用する所得対象者の範囲

- ①父、母
- ②監護する者のうち主として本人の生計を維持する方

### 所得限度額 (単位:万円)

扶養親族等の数	所得額	収入額
0人	361.1	528.8
1人	399.0	576.3
2人	437.0	623.8
3人	475.0	670.0
4人	513.0	712.2
5人	551.0	754.4

対象者となる方の所得が限度額を超える場合、受給者証は交付されません。

平成13年3月末日以前に受給資格を有した方については、所得制限は導入されません。

# SPORTS topics 冬のスポーツ

## スポーツの話題 もりだくさん

### 雪中ソフトボール



2月18日町民運動場において、陸別町ソフトボール協会主催の町技指定15周年記念雪中ソフトボール大会が開催されました。この大会は、新雪のグラウンドをそのまま利用し、膝が埋もれるほどある雪の中、特別ルールによって競技を実施しました。当日は3チームと少ない参加になっ  
てしまいましたが、珍プレーが出るたびに爆笑するなどの熱戦の結果ミックスチーム(有田勝彦、早坂政志、向井悟、佐々木敏治、佐々木正彦、大口慎治、空井猛寿、庄野勝政、下館史嗣、藤本拓史、女川修、佐藤貴光、松村敦、瀧澤勇二)が優勝しました。(以上敬称略)

▶2月20日・21日の2日間、陸別中学校体育館において、教育委員会主催の第2回町民フロアーリング大会が開催されました。

16チームで延べ180名が参加し、Aクラス優勝は東1条2区Bチーム(吉田勝昭、鈴木稔、長屋正史、吉田キミ子、鈴木保子)、Bクラスでは新町1区Cチーム(平木道廣、荒木透、下村仁、水間史人、平木せい子、大淵文子)が優勝しました。(以上敬称略)

### フロアーリング



▲Aクラス1位～3位

### 冬季スポーツ交流会



▲3月4日陸別中学校体育館で、陸別町、本別町、足寄町から30チーム150名が参加して十勝東北部冬季スポーツ交流会(ミニバレー)が開催されました。陸別町からは8チームが出場し、混成160歳未満の部でオーロラ2号チーム(平井均、大井幸雄、平井久美子、織田清美)が優勝を飾りました。

(以上敬称略)

▶Bクラス1位～3位



# 史跡ユクエピラチャシ跡

関公園にある史跡ユクエピラチャシ跡は、道内最大級のチャシで、昭和62年に国指定史跡に指定されました。この史跡を整備して公園化する準備のため、教育委員会では平成12年度と13年度に試掘調査を実施しました。試掘調査は整備事業の計画をたてるために、このチャシがどの様なものかを調べるもので、その成果の一部は文化祭で展示しました。この展示パネルは今も中学校の一室で見られるようになっていきます。

チャシというのは簡単に言うとアイヌの砦跡なのですが、具体的にどのような目的で造られたのかはわかりません。アイヌの人々の伝承では砦跡や見張り台、聖地など様々な例が伝わっています。チャシは川沿いや海岸沿いの小高い丘や段丘の崖面に面して造られている例が多く、ユクエピラチャシも利別川が蛇行する場所にあります。関神社や関寛翁碑に登ると、このチャシが深い堀で囲まれているのを見ることが出来ます。チャシはこの堀（壕）と呼んで

います。小山や崖面に巡らせているのが一般的です。さて今回はアイヌ文化とチャシの年代についての話をしたいと思います。

アイヌ文化の時代ははっきりと何年ごろから始まったとは言えないのが現実ですが、考古学での時代区分ではだいたい13〜14世紀から始まるとされています。ちょうど本州では鎌倉時代から室町時代に変わる時代です。チャシはこのアイヌ文化の時代の中で16世紀から18世紀にかけて造られました。

ではユクエピラチャシはいつごろ造られ、いつごろまで使われていたのでしょうか。試掘調査の結果、チャシ全体をこの年に降った駒ヶ岳の火山灰が覆っていることが認められました。この火山灰が降った後にチャシでの生活のあとが認められないことから、チャシが使用されていたのは遅くとも17世紀末までであることが分かります。

いっぽう、このチャシがいつごろ造られたのかを限定する資料は、残念ながら今のところ出ていません。中国の明で使用された「洪武通宝（こうぶつうほう）」という貨幣が調査で見つかったという事から、この貨幣が初めて作られた年代（初鋳年代）であるこの年よりは新しいと言えるぐらいで



す。この洪武通宝は室町時代の末に本州に大量に入ってきている貨幣です。

調査では、このチャシの年代は、火山灰と貨幣から14世紀から17世紀末までの間までしか絞れませんでしたが、今のところ17世紀中頃のチャシであろうと考えられています。

教育委員会では現在、史跡整備の基本的な計画を検討している段階です。ユクエピラチャシ跡を公園化するならこうしたほうがいい、こうしたらどうかといった御意見、また御質問がありましたら、ぜひ教育委員会まで御一報ください。また町内のアイヌ文化、チャシに関する資料の整理も考えていますので、「うちの畑で昔こんなものを拾っている」とか「昔撮った写真にチャシが写っている」といった情報も大歓迎です。

## 陸別に住んで

### Don's Column

私は陸別に暮らして43ヶ月になりました。毎日ぐうれいした日々が続いています。これまでも私は日本の文化とライフスタイル（生活様式）をとて、もたくさん学ぶことができました。実は、1997年8月に陸別に赴任したとき、この町は果たして私を受け入れてくれるかどうか心配でした。でも、この心配はすぐに消えました。

陸別町のみなさんがとても良くしてくれて、居心地がよく、安心して暮らせます。みなさんの歓迎や受け入れ方に私は圧倒されました。私にとってこの町はまるでふるさとのようなのです。みなさんが私を助けてくれているので、日々の生活はたいへん楽しく、それがとても恩義を感じています。

ここでのたくさんの経験は私に深い衝撃を与えました。でも、4年前から日本に住んでいるのに、まだ日本のことをしっかりと分かっていません。私は日本に来る前、日本の人々とはとても礼儀正しく、遠慮がちだと聞いていました。そのため、日本人は誰とでも親しくなれるわけではないと信じていました。日本の人々は形式ばって、かっこよく振る舞い、忙しい毎日の中で私たち外国人を受け入れるのを嫌がるだろうと聞かされてきました。でも、この考えは間違いだとは分かりました。陸別に来てからは、ほとんど毎日ありとあらゆるところから友情が芽生え、みなさんは私を受け入れてくれます。私が培ってきた友情はこれからも続きますが、みなさんからのやさしさへの恩返しはたぶんできなと思います。ここで暮らし、仕事できることは本当に私の人生にとって絶好の機会だったと実感しています。

あなたたち陸別のみなさんはすばらしい私の先生です。あなた方から受けた優しさや友情を決して忘れることはないでしょう。私がこの陸別に住んでいる間は、みなさんにカナダの生活や文化を進んでお教えしたいと思っています。また子どもたちには国際的な視野を広げ、外国の言葉や文化に関心を持ってもらうためにがんばっていきたいと思います。私はたくさんの子どもや大人が英語を勉強するのに一生懸命時間を割き、エネルギーを使っているのを見て感激します。とても誇らしいと思います。

最後に、私はこの町すべての人に言いたいことがあります。「どんな形でも私の力になれることは、喜んでお手伝いします。」と。

今日はこれまでです。また5月にお会いしましょう。



# 健康コーナー 36

## 4月・5月の予定

- 4月
- 10日 リハビリ教室
- 11日 フィットネス教室
- 16日 シェイプアップ教室
- 17日 リハビリ教室
- 18日 フィットネス教室
- 23日 シェイプアップ教室
- 24日 ポリオ予防接種  
リハビリ教室
- 25日 フィットネス教室
- 26日 乳幼児相談
- 5月
- 7日 健康相談(市街)  
シェイプアップ教室
- 8日 リハビリ教室
- 9日 フィットネス教室

### 乳幼児相談をご利用下さい

毎月、第4木曜日、乳幼児相談を開催します。対象は生後3カ月程度から3歳くらいまでのお子さんです。内容は身長・体重の測定、離乳食の進め方、育児に関する悩みや困ったことなどに答えます。保健婦、栄養士が対応します。

最近、虐待や育児放棄など残酷な事件が全国的に起こっています。事件の背景に共通しているのは「育児の悩みを相談する人がいなかった」ことです。乳幼児相談を利用して、悩みや不安を軽くしましょう。他のお子さんや家族と交流もできます。相談は申し込みはいりません。直接会場へ来て下さい。母子手帳を忘れずに。(集落センター和室、10時～11時30分。日時はくらしのカレンダーで必ず確認してください。)

### 季節の変わり目は風邪に注意

気温の変化が大きくなると風邪をひきやすくなります。特に予防接種を受けるお子さんは受ける前はもちろん、受けてからも風邪をひかないことが大切です。周囲の方々がうがい、手洗いを励行しうつつさないように配慮しましょう。

歯の健康は、歯垢が原因となつて起こる歯ぐきの病気で、細菌の作用により歯の周りに炎症が起こり、歯肉や骨が破壊され、最終的には歯が抜

けてしまいます。痛みなどの自覚症状がなく進行し、ひとたび進行すると治療が困難です。症状の進みかたは、1、歯肉が赤く腫れてくる。2、歯磨きをするといつも出血する。3、歯が長くなったような気がする。4、歯がグラグラし、痛くて噛めない、という順です。

原因としては、歯垢、歯石、偏った食事、歯ぎしり、歯並び、噛み合わせの異常、虫歯や歯の欠損、喫煙習慣、糖尿病があげられます。

対策は、毎日歯肉のチェックをし腫れや色を確認する・毎食後、歯磨きをするほか歯間ブラシや糸ようじを利用する・繊維質や噛みごたえのある食習慣に配慮する・規則正しい生活をする・年に一度は歯科検診を受けるなどです。(次回は虫歯についてです)

## 歯の健康と歯周病について

一年間の国民医療費のなかで、歯科医療費は心臓病などの循環器系の病気に次いで第2位となっており、二兆五千億円もの額に達しています。40歳までは虫歯が主体ですが、40歳からは歯周病が中心となります。40代の人の半数が歯周病で歯を失っているのが現状です。

原因としては、歯垢、歯石、偏った食事、歯ぎしり、歯並び、噛み合わせの異常、虫歯や歯の欠損、喫煙習慣、糖尿病があげられます。

対策は、毎日歯肉のチェックをし腫れや色を確認する・毎食後、歯磨きをするほか歯間ブラシや糸ようじを利用する・繊維質や噛みごたえのある食習慣に配慮する・規則正しい生活をする・年に一度は歯科検診を受けるなどです。(次回は虫歯についてです)

## 健康づくりの足あと

2月	健康相談(市街)	18名
5日	シェイプアップ教室	19名
6日	リハビリ教室	8名
7日	フィットネス教室	13名
8日	かんぽ料理教室	19名
9日	巡回ドック	32名
13日	リハビリ教室	6名
14日	ツ反接種	6名
16日	フィットネス教室	11名
18日	BCG接種	6名
19日	胃・肺・大腸がん検診	合計46名
20日	シェイプアップ教室	18名
21日	リハビリ教室	6名
26日	乳幼児相談	13名
27日	三種混合予防接種	13名
28日	フィットネス教室	11名

## 冬期運動講座

国民健康保険の協力により3月の毎週水曜日4回シリーズで冬期運動講座が開催されました。内容は簡単なエアロビクスとチューブ体操でした。労働と違い運動は日頃使わない筋肉を動かし血液の巡りを良くする利点があります。皆さん爽快な様子でした。



## 健康三三知識

### 「花粉症について」

花粉症は、特定の植物の花粉が原因で起こるアレルギー性鼻炎や結膜炎などの総称です。そのうちの8割を占めるスギ花粉症は一九六四年に確認されて以来、年々増えており、最近では地域によつては5人に1人が花粉症といわれています。花粉が多い日はからつと晴れて暖かく風の強い日で雨降りの翌日に晴れ上がると花粉の飛散量が増えます。新聞やテレビの花粉情報を参考にし、帽子・スカーフ・サンングラス・マスク等で防備しましょう。帰宅後はうがい手洗い・鼻かみ等、清潔に心掛けましょう。

### ひとこと

3月17日、十勝精神保健協会の主催により帯広で心の健康フェスティバルが開催されました。パザールや模擬店、コンサートなど催し物があり、各施設や作業所で各々がこの日に向けて一生懸命取り組まれた様子が伝わってきました。心の健康は、ちよつとしたことで損なわれ、誰にでもありうることです。偏見や差別に悩む人も多くいます。誰もが心和やかに過ごせる環境づくりに住民の皆様と一緒に取り組んでいきたいと思ひます。(保健婦 前田)

〈3月25日現在コテージ予約状況〉

※予約は既にうまっている場合があります。最新の予約状況は直接コテージ村管理棟へご確認ください。

4月	コテージ予約状況	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月
	6人用	○	○	○	○	○	○	△	○	○	○	○	○	○	△	○	○	○	○	○	○	△	○	○	○	○	○	△	△	○	
	10人用	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	

○余裕あります ●満室です △予約が入ってます ※予約はお早めにコテージ村管理棟へ(TEL7-4040 FAX7-4041)

5月	コテージ予約状況	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木
	6人用	○	○	●	●	●	○	○	○	○	○	○	△	○	○	○	○	○	○	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	10人用	○	○	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

善意に深く感謝いたします

平成13年2月15日から平成13年3月12日までに、陸別町社会福祉協議会の愛情銀行へ寄せられたご寄付です。「社協だより」発行の際に掲載していますが、時期が遅くなってしまうこともあり、この場を借りて皆様の善意に感謝申し上げます。平成13年2月15日～平成13年3月12日

住 所	氏 名	金 額	指 定 先	内 容
利 上	高 山 功 尾	50,000	小利別老人クラブ	夫の逝去に際して
		50,000	社会福祉一般	
共栄第1	鈴 木 秀 雄	30,000	しらかば苑	弟の逝去に際して
陸別カラオケクラブ 代表 村 松 武 範		50,000	社会福祉一般	福祉に (カラオケチャリティー)
陸 別 大 師 講 代表 猪 狩 好 子		50,000	社会福祉一般	福祉に

(敬称略)

公民館  
～図書室だより～

図書を紹介

**町の人口・世帯数**  
13.2.28 (カッコ内は前月比)

人 口	3,313人(-4)
男	1,630人(-3)
女	1,683人(-1)
世 帯 数	1,462戸(+1)

友好町民 H13.2.28現在  
**442人**  
(前月比+4)

ホームページアドレス  
<http://www.town.rikubetsu.hokkaido.jp/>

自衛隊一般幹部候補生募集

- 受付期間 4月9日～5月11日
- 試験期日 1次5月26日(土)、2次6月26日(火)～28日(木)までの指定する日
- 試験会場 帯広 ※詳しくは自衛隊帯広案内所(電話0155-23-8718)

**新規入荷図書(3/15)**

消されたファイル(麻生 幾)	四千万歩の男(井上ひさし)
ライオンハート(恩田 陸)	金持ち父さん貧乏父さん
極楽家族(佐藤洋二郎)	(ロバート・キヨサキ)
女ありて(平田 敬)	神の火(高村 薫)
共生虫(村上 龍)	玉蘭(桐野夏生)
脳男(首藤瓜於)	司馬遼太郎のテムズ紀行
惜春(井上明久)	(司馬遼太郎)
蓬菜橋にて(諸田玲子)	鉄の棺(H.A.ベエルナー)
子産上・下(宮城谷昌光)	冬晴れの町(赤瀬川隼)
警察手帳(久保博司)	
エネミイ(森村誠一)	※4月分休館日のお知らせ
土龍(出久根達郎)	9日・23日(月曜日)
羽と翼(黒井千次)	29日(祝日)

**町民のうぶごえ**

高岡 錬磨 3・10 電二 有子 東一条2区

今野 麻梨 2・14 史生 可奈 新町2区

石橋 友美 北青木 28 大通り

福田 千裕 3・4 東一条2区

根本ミツ 95歳 3・9 共栄第1

おくやみ